

校歌

作詞 森山 啓

作曲 長谷川 良夫

一、若ければ 散ることもなき
花に似る 希望を胸に
大聖寺 川辺の町に
はたらきて また聖城に
学ぶなり その名もゆかし
聖城よ

二、若くして はたらきながら
また学ぶ 夜学の窓に
月射して 眠れるごとき
錦城山 遠くながめて
帰る夜も 希望の明星(あかぼし)
かがやけり

五、若ければ 人の世にある
幾山河 ふみこえ行かむ
何事か 為して成らざる
ことやある 心のふるさと
聖城に 学びしことを
生かすつ